

『輝く雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2012年2月
第48号



雪が大好き!

主 な 内 容

平成23年第4回定例会	P 2
議決された意見書	P 2
議会改革について	P 3
町長への一般質問	P 4～P 7
議会の動き	
決算等審査特別委員会	P 8～P 9
産健福祉常任委員会 調査報告	P 10
総務民教常任委員会 研修報告	P 11
みんなの広場	P 12
あとがき	P 12



本日バジテスト

平成23年 第4回定例会 12月15～16日

十二月十五日から十六日まで平成二十三年の第四回定例会が開かれました。

上程された主な議案

◎二十二年決算認定

平成二十二年年度の一般会計及び水道事業会計の認定は、決算審査特別委員長から報告があり、いずれも意見を付して認定しました。(八～九ページ参照)

◎産建福祉委員会調査報告

産建福祉常任委員長から「農地の集積について」の所管事務調査報告があり、了承されました。(十ページ参照)

◎指定管理者の指定

温泉施設・自動車学校・デイサービスセンターをそれぞれ沼田開発公社・沼田交通教育協会・沼田町社会福祉協議会に指定管理者として指定しました。
指定期間は三年ですが、自動車学校は、来年度の経営統合を考慮して一年としました。

◎補正予算

- ・中小企業緊急対策
利子補給に七百万円増
- ・退職職員の労働審判が結審し、町側の主張通りの六十五万四千円追加

そのほか、一般・特別会計それぞれに不用額の精査を行いました。

第7回臨時議会 11月28日

◎給与条例の改正

人事院勧告に準拠して、職員及び特別職の給与を下げました。

若い職員の給与は据え置き、ベテラン職員ほど下がる仕組みにしました。

第1回臨時議会 1月12日

◎専決処分の承認

スキー場の圧雪車が経年劣化(18年経過)により使えなくなり、急きょリース契約で急場を凌ぎました。

次年度は買替が必要です。



可決された意見書

TPP「関係国との協議開始」に関する意見書

昨年11月11日に野田総理は「TPP協定交渉参加に向けて関係国と協議を開始する」と表明しました。

TPP協定が締結されると、農業ばかりでなく、あらゆる分野での影響が出てきます。

道民・国民の同意のないままTPP協定に参加しないことを強く重ねて要望しました。



付託された陳情書

原発依存からの脱却を求める陳情書

福島原発事故を受けて色々な意見が新聞・テレビで報道されています。

沼田町議会では、時流に流されず冷静な判断が必要と考え、総務民教常任委員会にこの陳情書の成否について付託しました。

委員会での議論を経て、3月定例会で審議されます。

告知

議会改革でこんなことやります(*_*)

議会懇話会

町民団体の企画による議会との懇話会を考えています。

申し込んで頂いて議会が出向く形をとります。
部分的には議会報告・陳情会の要素も含まれます。
議員の日程調整の関係もあり、10日前くらいの時間はください。

詳しくは、議会事務局か議員に問い合わせして下さい。

「沼田町議会懇話会申込書」

申込年月日	平成24年11月5日(月) 日 議会事務局受付)		
団体名	〇〇町内会		
代表者	氏名	沼田太郎	※全会員数(48人)
連絡先	氏名	野田佳彦	電話 05-2/11
報告・懇談を 求める内容	除雪体制について 街灯のLED化について		
開催日時	平成24年11月18日(日) 16時から		
開催場所	会場名	〇〇コメン	
参加予定人数	住所	沼田町〇〇町	
出席を希望する議員 (〇印を記載下さい) ※全議員で参加を 原則としております	15名 ・全議員(10名) (杉本・津川・絵内・中村・上野・渡邊・高田・長原・鶴野・久保) 【参考】 ・総務民教常任委員(高田・久保・中村・長原・津川) ・産建福祉常任委員(絵内・鶴野・上野・渡邊・津川) ・議会運営委員会(中村・長原・津川・絵内・高田)		
その他			

※ 議会事務局で受付の後、担当者から連絡いたします。なお、都合により開催日時や説明内容等について調整をお願いする場合がありますのでご協力願います。

議会傍聴勸奨

今まで、議会ホームページと防災無線での傍聴案内でした。
次回から一般質問の内容をチラシの形で告知します。

質問席の設置

議員による一般質問は、今まで自席からでした。
次回からはより理事者としてより向かいあえる形に改めます。

議会をより身近なものに

議長 杉本邦雄

町民皆様には平成24年の幕開けをご家族と一緒に迎えられお慶びのことと存じます。

さて、年来の願いでありました議会改革につきまして、議会運営委員会の議を経てその骨格がまとまりました。

その内容は、議会と町民の距離を少しでも縮めたいという願望から派生したものであります。

特に議会懇話会は、町民の企画に議会が出向いて説明責任を果たすというものであり、よりタイムリーに、より話しやすい雰囲気を開きたいと考えています。

しかしながら、なにぶん初めてのことであり、道内でも類例をみないことから、手探りで開催になると思います。その点をご容赦ください。

これからも町民・行政・議会が一体となっていけるように不断の努力をいたしますので、この企画にご賛同いただき、是非呼んで下さるようお願いいたします。



均



興



潮



翔



心



査



時



蛾



煌



結

貫

気

菅原局長

吉田書記



町長への一般質問

問 学力向上に効果がある、 小中一貫教育を導入をしては

答 二年後を目途に、
出来るところからすすめて行く



高田 勲
議員

問 過去四年間の総務文教常任委員会（現在は総務民教）の所管調査報告では、小中一貫教育の導入を進めるべきであると二度にわたり報告がされています。

新年度から中学校でも始まる新学習指導要領では、児童生徒の社会への順応性や協調性、判断力や行動力の育成が求められています。これらに対応する手段として、生活指導や学力向上に効果があると思われる一貫教育の準備をすすめ早期導

入をしてはどうか。



当時私も議会事務局長として、常任

委員会での論議を聞かせていただきました。基本的な姿勢は議員と一緒です。

現在、教育委員会では総合教育計画を策定中です。一貫教育の導入は総合計画の



更にぎめの細かな教育が求められている

中でも明示しながら進めます。

今、小学校の校舎が建設中で、二十四年度中にグラウンドを残し完成します。

二十五年度から、順次取り組みが出来るように進めていきたいと考えます。

教育長

一貫教育の導入を契機として、幼稚園も含め小さな町ならではの

問 地域活性化のための 利雪事業の継続ができないか

答 事業の計画要望を踏まえ考えます



長原 誠
議員

問 昨年と本年に渡り、商工会を中心とした雪を使つたイベントとして「雪夏祭」が実施され、多くの人達が町内外から参加して頂きました。雪の町、沼田町をアピールするうえで有効な事業であると思います。事業の継続に向けては予算の対応が懸念されます。

の教育スタイルを構築していきたいと考えます。

十年間を通してキメの細かな学習指導と生徒指導を目標に、十五の春を見据えた教育を行って行きます。

現在策定している総合教育計画の中に、具体的スケジュールを盛り込んで実施して参ります。

のならば継続して頂きたいのが私の願いであります。

本年度の事業は、相当の事業費がかかっていますので、今後の様な規模と財源で行うのかも聞いておりませんので正式な話が来た段階で充分に意見交換をし、考えていきたい。

会場については、具体的な場所は想定しておりませんが、反省の中で、商工振興を考えると市街地の開催を望む声がありますが、それらも含めて協力したいとおもいます。

又、会場の場所について市街地の遊休地を利用する事でこれまで実施して来た以上に参加人数の増加が期待でき、商工振興の効果もあがると考えます。

今後の事業継続の考えがあるのか。



来年度以降の体制については、正式な話は頂いておりませんので事業実施についてはお話しできません。地域を盛り上げる、更に利雪の推進の面も含めて、定着出来るも



問 沼田町の将来の病院を療養型と内科の二本立てにしている

答 来年度、協議の必要がある



絵内 勝己
議員

問 町長は沼田町の将来の病院を、どのように進めていくのか。

今、沼田町の病院は、建て替えると、赤字の問題をかかえています。でも「廃止すればいい」とはなりませんので、町か

ら病院を無くさず継続できる方法を考えてゆかねばなりません。

たとえば旭寿園は、常に三十人ほどの入園待ちがおられます。一方、かつて厚生病院はベッドが七十四ありましたが、今は半分ほどを入院用に使っています。この残りのベッドを、旭寿園に入園できずに待っている方に療養型で使っていたら、満室で運営すればいいかがでしょうか。

このように現在の外科や皮膚科などを無くして、療養型と内科の二本立てにすれば、現在の赤字の問題なども解決に向かうのではありませんか。



厚生病院は厚生連が運営しておりますので、私が言える答弁には限界がございます。

現在の厚生病院は七

十四床のうち療養病床三十二床は休床し、四十二床で一般病床を運営しています。その理由は、療養と一般を両方持つと施設内を二つに分け、スタッフも二つにしなければならぬので、改修経費と人件費から療養を休止しているそうです。つまり制度改正後、療養が一般より入院基本料金が低いため、全国の療養病床

は急激に減少しているのです。

同様に療養と内科だけにしますと入院基本料金が安くなり、赤字も町の持ち出しも多くなります。

さらに医師不足と建て替え問題もあります。

いよいよ来年度には内部や関係者の協議を進める必要がある時期にきています。

問 ごはん給食は、どうになりましたか

答 検討委員会の報告を受けた後、対応する



久保元宏
議員

問 ①ごはん給食は「あたたかいごはん」「炊き立て」「地産地消」「完全給食」など多様なニーズを同時に成立させる妙案と

が？

②仮に改修工事が四百五十万円かかっても、五年利用すれば一年当たり九

久保元宏議員、そのほかの質問

問 ガ駆除をどのように予算するか

答 予算で公共施設の駆除を行う

問 商店街のリフォーム助成をせよ

答 定住促進のみに助成する

十萬円で町民の幸福が築けるが？

③行政が整えた設備で民間が「炊飯」や「配送」を行えば雇用の創出になり、民間の設備投資リスクも回避できると思うが？

④机上の議論の他に実験として、二週間ほど中学校の家庭科室で炊飯し中学生の反応を見るのはいかがか？

⑤本件の助成金はあるか？

⑥文科省通知の「学校の米飯給食の推進」への見解は？

⑦「ごはん給食」アンケートで、賛成は何パーセント？



検討委員会の報告後に対応する。

教育長

①意義はあるが、施設と経費の問題を検討中です。

②答申を待つて対応します。

③商工振興は視点に無い。

④単発なら可能です。

⑤「学校給食施設環境改善交付金」は本件に該当しません。

せん。

⑥今もごはん持参している。

⑦七十五パーセントを超えています。

沼田厚生病院の快適な人間ドッグ用の待合室



12月19日、北空知4町の議員で給食を試食し、意見交換をしました

問 自然エネルギーを 自給できる町づくりを

答 今後の町づくりの手段として考えて行きたい



上野 敏夫
議員

問 今年の震災後、エネルギーに関心を持つようになったと思います。沼田町には雪エネルギーがあるが、さらに自然

体的にはまだ確立されておられませんので、方向は認識しています。
来年度完成する小学校の建設に併せて太陽光パネルの設置を予定しており、子供たち、町民が身近なところで見えていただく工夫をして行きたいと考えております。

エネルギーで自給できる町にすべきと思う。



安定的
なエネル
ギーの確保という
ことに関しては私
も必要性を感じま
すが、どこまで出
来るかという疑問
と色んな問題があ
ります。

今後、再生エネルギーの導入は念頭に置いて町づくりをして行きたいと思いますが、具



風力発電

問 化石館と化石発掘現場の 将来構想をどの様に考えているか

答 新しい魅力作りと観光と地域振興、
教育のバランスが必要



渡辺 敏昭
議員

問 今年度、化石館の入館者数が増加したが、移設、リニューアルの効果

と、化石の発掘を、体験学習に取り入れたことによる増加と考えられ、来年以降も増加すると考えられます。
しかし、発掘資源には限界がありますし、河川の増水に影響なく安全に発掘体験が出来る様になる事も重要と考えます。

観光資源的な考えと教育施設的な考えの両面から化石館と化石発掘現場の将来構想を伺います。

教育長

発掘体験の希望者は年々増加しており、今年度は約二千人が発掘体験を目的に沼田町を訪れています。

新たな化石発掘場所については、現在の化石発掘体験場所が降雨の時は別として、まだまだ使用できませんので、少し先送りしたいと考えています。
本来化石は文化財ですので、保全と活用を両面から、原点到立ち返って考えたいと思います。発掘だけが全てでない

思いますので、見せ方の工夫などをすればもっとワクワクするような体験が出来る気がします。
十年以上新しい化石が発掘されていまして、学芸員の先生には夏の間、その事に取り組んで頂きたいと考えています。

沼田町の化石館として新しい魅力作りが必要と考えますし、観光と地域振興、教育のバランスが必要と認識しています。



好評な
化石発掘体験学習

問 町民の支払う沼田厚生病院の医療費を無料にせよ

答 予防や早期治療にこそお金をかけるべきだ



中村 保夫
議員

定住政策の切り札としてもビックコマースシャルになると思うが、どうか。

健康福祉課長

平成二十二年の町の純

手出し部分は六千七百万円を予想しています。

一方で町民の自己負担部分は三千九百万円です。

ご指摘のシミュレーションで試算しますと、町民の手出し部分はゼロとなり、町の手出し部分は患者が二

問 沼田厚生病院は、恒常的な赤字経営となり、赤字分の全額を沼田町で補填しています。特別交付金での助成があり、助かつてはいまが憂慮しています。過去三年間の沼田町の純手出し部分はいかほどか。

一方で、沼田町民が沼田厚生病院に支払っている個人負担部分はいかほどか。

その手出し部分を町が助成して、「沼田町民は沼田厚生病院の医療費無料」とした場合、患者の増加や国保会計への影響・特別交付金の動向などを勘案するとどうなるか。

この政策は、移住

今日はいくら?

十%増えると仮定して八千六百万円の手出しとなります。



お金を厚生連に出すのではなく、町民に出すという発想は解

りますが、無料なるが故の過剰診療などで医療費がさんでしまう可能性があり

問 人口減少に

歯止めをかける為の政策は何か

答 魅力的な住宅整備、子育て環境整備を考えたい



津川 均
議員

問 各市長村とも人口減少には頭をなやめている所でありますが、わが町も三千六百人を切りそうな勢いであります。さらに、一年に七〇〇八〇人減っています。

この減少をどこまで黙認できるのか、沼田町単独で行政をやっているラインは何人なのか伺います。

これまで、企業誘致や移

ます。

やはり行政としては、かつてしまった病気にお金をかけるよりも、予防や早期治療に誘導すべきと考え

ます。

インパクトのある政策については、別途検討させていただきます。

住定住、高齢者、子育て等々

いろいろな政策を講じてきましたが、残念ながら成果が上がっていません。町長になられて半年が過ぎ、やりたい事、新しい政策を少しでもお聞かせ願います。



人口の減少については私も大変憂慮をしていますが何とか出来ないものかと感じています。まず住んでいる人が基本だと思えますので、議論して基本的には沼田町を無くしていかない思いを堅持したいと考えます。一方で、北空知の中で広域的な連携

を模索し、財政的な負担減も含めて考えて行きたいと思えます。

政策的には積極的な人口増にむけ今後、大きな事業なり労力を掛けていきたいと思えます。その一つとして魅力的な住宅の整備により、若い人たちが安心して住み、安心して子育てのできる環境整備を順次取り組んでいきたいと思っています。

さらには今後、町をどうするかを含め検討委員会を設置するなどの内部検討をさせていただきます。

子育て住宅の整備が待たれる

平成22年度 決算等審査特別委員会

10月24日～28日

委員長 津川 均
副委員長 長原 誠

議会の動き

平成二十二年度の決算審査が行われました。
決算審査は、当該年度予算の執行状況をチェックするとともに、
政策提言等を次年度の予算に反映すべく、予算立案前の十月に例
年行われています。
四日間に渡り審査が行われ、右記の意見を付して原案通り認定
いたしました。
最終日の総括質疑と答弁は次の通りです。

一般会計決算認定に付した意見

限られた予算のなかで、各課各職員が住民サービスに鋭意努力をしている事は議会としても十分に理解を示す所ではありますが、健全財政と住民サービスレベルを維持しつつ、地場産業の活性化等一層の努力を望みます。

(1) 住民健診の受診率について

特定健診については現況受診率が40%程度と当初目標とした受診率とは乖離しております。受診率の向上は病気の早期発見と後期高齢者支援金の負担を軽減するためにも極めて重要であります。住民へのPR活動を強化し、周知徹底を図り、受診率向上に努めるよう望みます。

(2) 就農支援実習農場の運営について

就農支援農場については本来の目的である就農支援を主眼に置き、国の助成に頼り過ぎずに収支均衡を図ることができるよう、体制整備を望みます。

(3) 介護保険金給付ミスについて

介護給付費財政調整交付金の申請ミスにより、1,298千円の歳入見込みが立っていないことは極めて遺憾であります。

チェック機能の強化を図ると共に、善処をもとめます。

水道事業会計決算認定に付した意見

平成22年度は給水戸数1,610戸（前年比12戸減）、有収率82.6%（前年比2.1%減）となり、収支の状況は受託工事費の増加等により純損失11,662千円となりましたが、前年度繰越利益剰余金を充当し厳しい経営環境の中で努力されており評価をしますところではありますが、平成22年度においても未収金の増加がみられるので、今後とも利用者間の公平感を失われぬよう、より一層の収納対策に努力されるよう望みます。

財源積立と 住民サービス

Q 健全財政への取組と「今住んでいる皆さんを大切に」住民サービスのバランスをどの様にかんがえるか。

A 将来の住民負担の軽減を考え、今後必要となる基金は積立をし、財産を伴わない地方債の繰上償還を行いながら、住民サービス水準を損なう事を避けつつ、内部管理経費の圧縮を図り、必要な対策を講じてまいります。

自動車学校の 运营管理

Q 決算で黒字になるのなら、補正する必要はなかったか。

たのではないかと。もっと予算の精度を高める事が出来なかったのか。

A 前年度の決算見込みを立て、補正予算を出していますが、高校生の入校見込みが充分立たないのが現状で、更に、職員数の減に伴い、貸付金の減額補正とさせて頂きました。

三月の補正で指定管理料を支出しましたが、その後の入校生徒数が多く、黒字決算となりました。収支の計画は月々行なわれ、町に提出されています。今後とも適正な運営を行いますので理解願います。

パークゴルフ場の 担当

Q 現在、建設課の所管で

あるが、体力の増強、介護予防の観点から、所管を変えるべきではないか。

A 利用率向上のために、運営所管の変更は考えています。

現在、教育委員会では、野球場とテニスコートを管理していますし、一体的な運営をすることで、行事や宣伝PRの効果あるとおもいます。内部で検討したいと思っています。

利雪による 町づくり

Q もはや「利雪の町」は沼田町だけではない。沼田町の独自性を出すためにイメージ戦略から、科学的な攻めの戦略に移行すべきではないか。

あるが、体力の増強、介護予防の観点から、所管を変えるべきではないか。

A 『沼田町食料貯蔵流通備蓄基地構想』の策定から十数年経過し、国も食料備蓄に関する調査を予定している等、食料備蓄の考え方が変わってきています。これらを踏まえ雪と共生する町づくり推進計画を策定し、町行政の進むべき方向、指針を示し、利雪の推進に努めてまいります。

特定健診 受診率向上

Q 特定健診受診率が40%と低く、受診率を上げる為のPR、情報提供が足りないのではないかと。

A 平成二十四年度目標を六十五%に置いておりますが、大変厳しい状況であります。受診率を上げなければ、

結果的に後期高齢者支援金という国保税に係る部分についてのペナルティー加算がありますので、住民に説明し、受診率向上に努めてまいります。

就農支援農場の 体制

Q 農場業務の中で、通常時間内で牛の飼育管理を行っているが家畜の状況に応じた管理をすべきであり、フレックスタイム制は考えられないか。

A 現況は、四名で一ヶ月シフト割を行い実施しています。

職員配置の問題、少年に対する指導、さらにフレックスによる給与体系の検討など現在の環境では難しいのが現状です。



産建福祉常任委員会所管事務調査報告

委員長 絵内勝己
副委員長 鵜野範之
委員 上野敏夫
渡辺敏昭
津川 均

調査項目●農地の集積について

本 町の農地の集積状況は平成十三年度から農地流動化対策事業が取り組まれ、事業費九千八百万円の執行により、順調に農地の集積が図られています。

一方では、農業経営体戸数が一八五戸を切り、高齢化も進み後継者を有しない農家戸数が増加しており農業を基幹産業とする本町において地域の持続的発展を図る上でも大きな課題となっておりです。

更に、日本経済はTPP交渉参加など農業を含めた大きな転換期を迎えようとしており、今後は国際競争のなか生き残りをかけた農業構造の改革が求められ、生産基盤の維持向上や農産物に付加価値をつける農業の六次産業化など、農地集積を基軸とした今後の沼田農業課題を調査しました。

調 査の中で、共通課題として今後も規模拡大の意向は強く円滑な農地の流動化と、継続的な地域ブランドづくりや担い手（後継者、配偶者、新規就農者）

対策が必要との意見が出されました。

視察では、同じ課題を別の視点から取り組んでいる栗山町とむかわ町での取り組みを研修しました。栗山

合併町であるむかわ町では、農業センターでの農協と町との連携による取り組みと、新規就農者対策（研修農場、新規就農者支援策）を含め研修をして参りました。

記

- 1) 農地の流動化は今後もさらに進むことが想像されるため、営農効率を考慮した集積が図られるよう支援誘導策が必要であります。
- 2) 持続する沼田農業を構築するためには、農地と新規就農者など農業の受け皿となり得る法人経営体の育成と、個別完結型農業を補完する作業受託組織の育成が急務であります。
- 3) 営農経営形態が多様化するなかで、農業後継者や新規就農者が安心して就農できる支援策、支援体制の構築とこれらを一元的にサポートする窓口の設置が必要であります。

町では（財）栗山町農業振興公社が平成十六年に農地保有合理化法人の認可を受けており、農地保有合理化事業の取り組みと、担い手対策など農業施策全般を、また、

どこの地域も産業の空洞化により過疎化が進行し、大きな課題となっている状況であり、基幹産業である農業を核とした地域再生維持を図るため、課題解決に

向けた地域独自の施策を展開して参りました。

今 後も農業従事者の高齢化と担い手不足が続く円滑な農地流動化対策が必要となつてきますが、急激な農地の流動化は地域の崩壊や産業の弱体につながることも想像されることがから緩やかな農地流動化が必要と考えこれを踏まえて、今後の沼田町の農地集積について、下記をもって調査報告といたします。

むかわ町での研修



総務民教常任委員会

研修報告『地域資源の活用について』

2011年10月12日(水)～13日(木) 清里町、美幌町

補助金「事業」のより積極的な取り組み

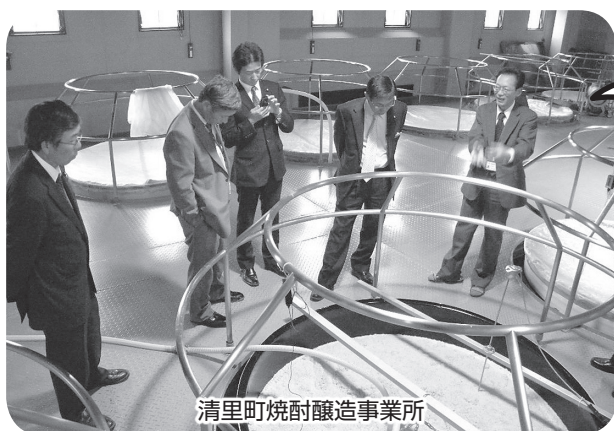
商工業者よりも元気がいいのは農家だが、なかなか商工会主催のイベントなどに参加してくれない。そこで、農家の作る小麦粉で冷麺、乾麺、ラーメンを商品開発し、観光協会の組織力で全町的な盛り上がり演出した。すると、農家が商工会に入会してパン屋を始めるなど波及効果が大。



きよさと観光協会
奥山英明 事務局長



オリジナル商品の開発の工夫



清里町焼酎醸造事業所

健康ブームで成長市場にある「飲料酢」の分野に、高級果実の地元産メロンを原料とした醸造酢を開発し進出する。同時に地元産の他の果実など、複数の醸造酢の開発も行っている。

さらに本格焼酎ブームの中、すでに製造中の「じゃがいも焼酎」に続き、かぼちゃ・長いもなどを原料に開発。これら果実酢と焼酎を地域の特産品に育てるべき事業を展開中。

商工会と農協の二元論を超える取り組み

農家との連携は、調査研究事業のプロジェクト委員に農協の職員で部長職1名と蔬菜組合の組合長、農業従事者もメンバーに入っている。行政からも商工、農政、畜産各部局から係長がメンバーとして参加。「知らない」とは言わせない組織作り。

予算は100%補助を目指し、常に日本商工会議所にそうなるよう確認しながら事業を実施している。



美幌商工会議所

十一月二十五日
沼田小学校の改築
工事を視察しました。

まるで初雪が根雪のよう
な厳寒のなか、多くの方が
熱心に働いていました。
基礎工事の段階ですので、



ちようど設計図面のように
全体が見渡せる状態でした。
十月末までは計画通りに
進んでいたようですが、十
月からは雪で少し遅れ気
味のようでした。それでも
十二月末から三月二十日ま
での冬期間の工事休業をは
さんで、年度内出来高予定
の四十一・八パーセントに
は近づけるようです。

復活を強く要望させていた
だきました。残念ながらそ
れらの規模は計画より小さ
くなってしまいました。が、
自然エネルギーの必要性が
日増しに強く感じられる今、
引き続き注視してゆきます。
また、これからは備品の
議論も必要になってきます。
完成予定は今年の十二月
です。今の小学校五年
生は、六年生になると三学
期だけでも新しい校舎を体
験できるかもしれません。

あとがき

議会で議論をすると、「費
用対効果」か、「予算にし
ばられない自由な発想」か、
と両極の意見がしばしば出
されます。

もちろん、無駄な予算も
いけませんし、不自由な発
想にも未来はありません。
つまり、この両方が必要な
のです。

同様に昨年四月の町長選
挙では「政策」か、「手法」
か、が争点の一つであった
という見方もできます。こ
れも同様で、どちらか一つ
だけが答えなのではなくて
両方が必要なのです。

まもなく金平町長の戦略
予算がいよいよ発表されま
す。「費用対効果」も、「予
算にしばられない自由な発
想」も、そして「政策」も
「手法」も。これらを同時
に満たす鮮やかな提案を期
待しています。

広報特別委員

中村保夫 長原 誠
鶴野範之 久保元宏

みんなの広場

貧困を輸出入するTPP

沼田町農民協議会 委員長 小 峯 聡



野田総理はTPP参加に向けて各国と協議入りを
するという微妙な言い回しを昨年して、参加しよう
としています。

私たち農業団体は当初、農産物が自由化されれば
離農する農家が増え、日本の食糧の自給率が下がる
との見方から反対していました。

しかし時が経つにつれ、それだけでは済まない状
況になることが少しずつ解ってきました。

問題点は

1. 多国間交渉と言いながら、中身はアメリカとの
二国間交渉である。
2. 交渉内容は成立するまで非公開である。
3. 関税撤廃も影響が大きいが非関税障壁の撤廃は
もっと国民に影響を与える。
4. 『毒素条項』と呼ばれる幾つかのアメリカに都
合のいい条項がある。

多国間交渉という前提があるので表面上は各国の
条件は同じように仕組まれてはいますが、中身を精
査すると、あれ？と思うほどアメリカに有利です。

この他にも沢山あり、紙面の関係上詳細はここで
は伝えられません。

これらが締結された場合、日本はほんの少しの富
裕層とほとんどの貧
困層にはっきり分か
れてしまいます。

つまり極端に言う
と、TPPは貧困を
輸出入する仕組みな
のです。

